

令和5年度 第2回 西条市子ども・子育て会議 開催記録	
日時	令和6年2月19日(月) 19:00~21:00
場所	西条市役所 本館5階 大会議室
参加者	<p>【委員：11人】 公立幼稚園・こども園保護者副会長、西条市保育協議会会長、私立幼稚園園長、私立認定こども園園長、小学校校長会長、学識経験者、主任児童委員部会長、青少年健全育成協議会会長、医師、PTA連合会副会長、母子寡婦福祉連合会会長</p> <p>【市側：11人】 こども健康部長、こども健康部副部長兼健康医療推進課長、子育て支援課長、保育・幼稚園課長、健康医療推進課主幹、副課長兼子育て世代包括支援係長、女性係長、子育て支援係長、保育・幼稚園係長、母子保健係長、地域学校協働係</p>
次第	<p>1 部長挨拶</p> <p>2 協議題</p> <p>(1) 利用定員の設定に係る意見聴取について</p> <p>(2) 西条市公立保育所等再編整備計画(案)のパブリックコメント結果について</p> <p>(3) その他</p>
【協議題】 (1) 利用定員の設定に係る意見聴取について	
令和6年度確認対象施設について	
委員の発言要旨	市の発言要旨
<p><公立保育所の定員について></p> <p>私立の保育園は、定員割れを起こしたらすぐに定員の変更を申し入れる。公立はずっとそのままだが。これはなぜか。定員によって一人当たりの委託料が変わってくるので、定員割れしたら定員を減らしたいと考えるのが経営者として当然の考えになるから。公立は関係ないので減らさないとと思うが。私のところも私立で今のところ定員を越えて受け入れているが、何年後かには定員を減らす申請をしなければいけないと思っている。何が言いたいかというと、公立も定員割れしたら、定員を減らしたらいいと思う。そうすれば、そこの保育園が何人ぐらい必要かが分かる。利用定員だけ見ていたら充足率の話になって統合ということになるが、定員を毎年変えたら、その校区に保育園が1ついるのか2ついるのか分かってくると思う。以前に「公立の定員の変更はないのか」と発言したのは、そこを含めて提案した。公立の再編整備計画について話すことになると思うが、そこにも関わって来る話だと思う。</p>	—

<認定について>	
そもその話になるが、認定を受けると、市から助成があるということか。だから定員を決めるということか。	そのとおりである。
【協議題】（２）西条市公立保育所等再編整備計画（案）のパブリックコメント結果について	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年1月10日から令和6年2月8日までの間でパブリックコメントを実施したところ、意見の提出がなかった。 ・地域に与える影響を少しでも緩和できるよう、計画策定後は他部署等と連携して慎重に進めていくこと、また、再編により集約された人的・物的資源を効果的に活用し、保育の質の向上を含め、地元及び保護者に丁寧に説明し、安全安心で子育てに優しい施設整備である旨を発信していきたい。 ・今後は、令和6年3月市議会定例会にて報告後、年度内に計画策定できるよう事務を進めていく。 	
委員の発言要旨	
—	
【協議題】（３）その他	
西条市子ども・子育て支援に関するニーズ調査について 調査の趣旨、対象、方法、項目（案）、スケジュール等を説明。	
委員の発言要旨	市の発言要旨
就学前児童の保護者2000人ということだが、分母はいくらで、なぜ無作為抽出か。小学生の保護者3000人は全員だが、なぜ就学前児童は無作為抽出か。	分母が約4000人。無作為抽出により前回調査の2000人と合わせた。
私たちが気になっているのは、ネグレクト、虐待、ひとり親家庭、貧困家庭などで、そうした現実の数字をしっかりと把握しなければいけないと思う。前回は無作為抽出で回答率が50%ということだが、回答しているのは子どものことを日頃から考えているご家庭である可能性もあり、むしろ回答しないご家庭をしっかりと把握するべきかなと思っているが、どのように考えているか。	前回調査は確かに半分程度の回答率で、回答されない方が置き去りになるのではないかという心配も確かにある。ただ、今回のアンケート以外で、家庭児童相談員が中心となった要保護児童対策地域協議会や児童相談所・民生委員との連携といった方法で、個別の状況を把握させていただきたい。
設問が結構多いが、答えた人に市のポイント券をあげるとかないのか。	設問が多いことについて申し訳ない気持ちはあるが、回答いただくことへの直接的な見返りは準備しない予定である。いただいたご意見を市の施策に反映するというご理解していただきたい。

<p>ひとり親になった理由や子どもとの関係性など、あけすけなところまで問うている。離婚の理由なんて一つに絞れないと思う。たとえば、設問のあとに相談窓口のことなどが書いてあればいいが、そのようなものは何もなく、あなたの赤裸々なところを全部書いてくださいとだけある。匿名だから、回答者に直接サービスが届かないのかもしれないが。市役所にとったら役に立つすごく価値のあるデータかもしれないが、回答率を上げたいのであれば、回答するにも時間かかるのだから、設問を精査して考えているんですかと聞きたい。国の方針として、このようなことを聞くようになってきているのか。</p>	<p>おおもとは国の考え方に則っているが、市で付け加えた部分もある。</p>
<p>細かいのはいいけど、回答するほうの身になっている設問ではない。アンケートは次にアクションを起こすためのものであって、細かいところまで聞く必要はないと思うが。</p>	<p>設問を設定した考え方としては、実情を把握できた結果、行政としてサポートする必要があるとなった場合、施策のための基礎的な資料である。現状では、まだ弱いところもあるので今からどうしていくかということを考えるための調査ということである。</p>
<p>確かに、ひとり親になった理由の設問を見たら、私であれば回答をやめようかなと思うから、ここは対面で聞いたらいいいのではないかなと思うが。</p>	<p>—</p>
<p>アンケートの中に、ひとり親の設問を入れる必要があるのか。児童扶養手当の件数を市が把握しているのではないか。</p>	<p>ひとり親家庭に対する市の施策が十分なのか、現状を把握するために必要であると考えている。児童扶養手当の件数は把握している。</p>
<p>この調査は行政がどういうニーズに応えていくべきかという目線で作られているので、一般の市民が答えようとしても、基本的な内容を知らないと、先に進めなくなる。行政が知りたいことと市民が答えられることが乖離している。ひとり親になった理由は決して1つではないと思うし、それを答えることは容易ではないと思う。もう一度、市民目線だと何が答えられるかという観点から設問を見直してはどうか。</p>	<p>そのような意見を頂くのが今日の会と認識している。私共も調査するからにはたくさんの情報がほしいという思いがあったが、細かすぎると最後まで調査を協力してもらえない恐れもあるので、優先順位が低いものについては設問を見直しをしたいと思います。</p>

<p>たとえば、民生児童委員協議会であれば、一人暮らしの後期高齢者について市役所が把握したいことがあれば、市役所が民生委員に対してアンケートを実施し、民生委員が地域の実情を回答している。だから、市役所が高齢者ひとりひとりにアンケートを渡す必要がない。</p> <p>アンケートを受け取った保護者が気持的に回答が難しいのであれば、こうした高齢者のように別の手立てを考えてはどうか。</p>	<p>大きな傾向や流れを知るために地域で活動されている方のご意見を聞くということはあるかもしれないが、今回の計画については、まず子育てしている人のニーズを拾いあげなさいという前提があるので、アンケートは実施する必要がある。設問を見直す必要はある。</p>
<p>設問を見直すのは大前提だが、LOVESAIJOポイントをあげるだけでも回答率は上がると思う。回答率を上げるためにはちょっとした飴も必要だと思う。</p>	<p>設問については見直しを行う。 ポイントについては、検討したが難しい。</p>
<p>アンケートの後半部分が意識調査、前半部分が実態調査になっていると思うが、意識調査から始めた方が答えやすいと思うし、意識調査と実態調査を混ぜない方がいいのではないか。</p>	<p>設問の流れについては、見直ししたい。</p>
<p>ひとり親の施策を充実させたいからお答えくださいという言い方にしたら、答えやすいと思う。「なんで答えないといけないんだろう」という思いを汲んで、調査の目的を書いてくれた方が、答える方も使命感が沸く。</p>	<p>調査票もしくは送付文書の中に、何のためにというのが分かるようにしたい。</p>
<p>回答率を上げるためのWeb回答だと思うが、みんなスマホだと思うし、一気に時間を取れない。保存機能をつけるのも手だてかもしれない。利用時間のところであれば、入力するのではなく、選択肢にしたほうが答えやすい。</p>	<p>出来る限り簡便に回答できるようにしていきたい。</p>